

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第98号 令和6(2024)年4月5日発行



令和6(2024)年度の開始に当たって

栃木県総合教育センター所長 大高 栄男

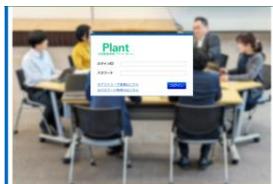
当センターでは、本県教育の充実と生涯学習の振興となるよう、また、多くの教職員の皆様や県民の皆様の学びの伴走者となるよう、次の各種事業より、様々な支援等を行ってまいります。



| | |
|--------------|--|
| ○研修事業 | 教職員の働き方改革及び ICT 活用の推進を踏まえた教職員の指導力向上に向けた研修の実施 |
| ○調査研究事業 | 当センターの研修、校内研修等で活用するための指導資料の作成、周知 |
| ○教育相談事業 | 来所相談の実施と学校における相談事業の支援 |
| ○研究・学習活動支援事業 | 学校等の研修会やケース会議における支援のための指導主事・社会教育主事の派遣 |
| ○教育充実振興事業 | 教育相談特別講座や教育研究発表大会等の実施 |
| ○幼児教育推進事業 | とちぎの幼小カリキュラム接続プロジェクトの推進 |

今後とも、所員一同、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

センター研修の受講申込方法の変更(重要なお知らせ)



国は「令和の日本型学校教育」を担う「新たな教師の学び」を推進するため、学びの成果を可視化する研修受講履歴の記録・閲覧、質の高い研修動画コンテンツの提供、ワンストップ化された多様な研修の受講申込み・推薦等手続・受講など各種機能を備えたシステムを開発し、「全国教員研修プラットフォーム(Plant:プラント)」として提供を開始しました。そこで、本県では、Plant を用いて研修受講履歴を記録するとともに、その記録された受講履歴を活用して対話に基づく受講奨励を行う取扱いとすることを決めました。

当センターにおいては、Plant に備わった研修の受講申込みの機能を、今年度から活用します。従前の方法から変更となりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

◎ 各自が Plant へログイン後、申し込むセンター研修を検索し、申込ボタンを押すことで受講申込となります。申込み後は、管理職・教育委員会による承認及び研修主催者による受講決定の処理が Plant で行われるため、自身の受講決定の可否について、Plant で確認してください。(ログインには、「ログイン ID」「パスワード」「認証コード(登録したメールアドレスに届く6桁数字)」が必要です。)

○ Plant を用いて受講申込みをした研修の受講履歴については、Plant に自動で記録されます。センター研修の受講履歴については、Plant に自動で記録されます。

学校支援として校内研修をサポートしています

先生方にとってよりよい校内研修となるように、センターの社会教育主事や指導主事が学校に伺い、講師としてお手伝いをさせていただきます。以下の表を御確認の上、各担当部へ電話でお申込みください。日時、内容など、御要望に応じられるよう、できる限り努めてまいります。テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、まずは御相談ください。

社会教育に関する研修支援

生涯学習部 TEL 028-665-7206

| No. | テーマ | 目安時間 | 主な内容 |
|-----|-------------|---------|--|
| 1 | 人権学習 | 50～120分 | 参加体験型の学習を通して、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。 |
| 2 | 学校・家庭・地域の連携 | 50～120分 | 学校運営協議会等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験を通して学びます。 |
| 3 | 保護者対象の学習会 | 50～120分 | 保護者会（学年・学級懇談会）・PTA（活動）等における保護者同士の話し合い活動を充実するため、親学習プログラムの活用方法を中心に、ファンリテーター（進行役）の役割や進め方について学びます。 |

学習指導等に関する研修支援

研究調査部 TEL 028-665-7204

※ 実施目安時間は60～120分程度で相談に応じます。下記テーマにない校内研修に関しても、お気軽に御相談ください。

| No. | テーマ | 対象 | 主な内容 |
|-----|-------------------------------------|-------|---|
| 1 | 各科等の授業研究会 | 小・中・高 | 学校課題の解決に向けて実施する各教科等の授業研究会をサポートします。授業参観や授業研究会を通して、授業づくりのポイントや授業改善につながる視点を先生方と一緒に検討していきます。（指導案検討の段階から一緒に取り組む事も可能です。） |
| 2 | 資質・能力の育成を図る授業づくり～単元の見直しとICT活用の視点から～ | 小・中 | 児童生徒の資質・能力の育成を図るために「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりを考えていきます。特に単元や題材のまとまりの中で資質・能力を育成するデザインを考え、その過程における効果的なICT活用などの工夫を学びます。 |
| 3 | 教科における「探究的な学習」の充実 | 高 | 各教科・科目等において「探究的な学習」を効果的に取り入れた授業デザインや授業展開の方法について、演習などを通して理解を深めます。また、ルーブリックの作成と活用方法についても学びます。 |
| 4 | ICTの活用 実践講座 | 小・中・高 | 1人1台端末を活用した授業実践やプログラミング教育、各種クラウドサービスの効果的な活用や業務の効率化など、学校の実態やニーズに合わせて学びます。 |
| 5 | 情報モラル教育 | 小・中・高 | 児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応について学びます。ワークショップを通して、先生方の実践力の向上を目指します。 |
| 6 | マネジメント | 小・中・高 | 組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を踏まえ、各学校の教育目標、ミッション、ポリシー等の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。 |
| 7 | 危機管理 | 小・中 | 学校における具体的な危機の場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理に対する意識を高めます。 |

教育相談・特別支援教育に関する研修支援

教育相談部 TEL 028-665-7210
7211

| No. | テーマ | 目安時間 | 主な内容 |
|-----|-----------------|---------|--|
| 1 | いじめの理解と対応 | 50～90分 | いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。 |
| 2 | 不登校の理解と対応 | 50～90分 | 不登校の考え方、不登校対策、児童生徒への支援、保護者との連携、組織的な対応等について考えます。 |
| 3 | 通常の学級における特別支援教育 | 50～90分 | 通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。 |
| 4 | Q-Uの活用 | 50～120分 | Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 （※ Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。） |
| 5 | 自立活動の指導の在り方 | 50～90分 | 自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 （※ 自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。） |
| 6 | 事例検討 | 60～90分 | 児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。 |
| 7 | その他 | | 上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。 |

幼児教育と小学校教育との接続に関する研修支援

幼児教育部 TEL 028-665-7215

| No. | テーマ | 目安時間 | 主な内容 |
|-----|------------------|--------|---|
| 1 | 架け橋期の教育の充実 | 60～90分 | スタートカリキュラムや生活科の充実のために大切にしたいこと等を学び、架け橋期（5歳児から1年生の2年間）の教育の在り方について考えます。 |
| 2 | 子どもの育ちと学びをつなぐために | 60～90分 | 幼児期の指導要録や口頭による情報交換の趣旨と内容を踏まえ、小学校において一人一人が自分らしさを発揮しながら学ぶための指導の在り方について考えます。 |

当センターがまとめたパンフレットや冊子を御活用いただけます

以下の①～⑧は、当センターがまとめたパンフレットで「令和6（2024）年3月発行」の最新版となります。

① 市町における社会教育指導者の状況に関する調査研究



生涯学習の推進のために学習機会の提供や学びへのきっかけづくり、多様な主体との連携・協働等を行うコーディネート機能が重要です。各市町の社会教育主事の発令状況や業務、地域学校協働活動推進員の活動内容、課題意識等を把握する実態調査を実施し、市町における生涯学習・社会教育に関する施策・事業の立案や改善に関する資料を作成しました。

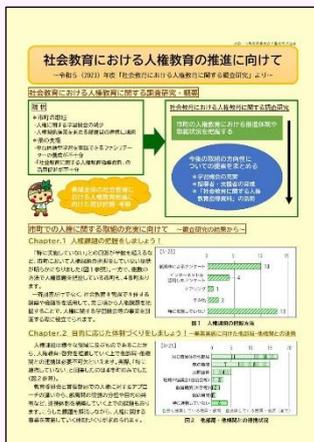
<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Web サイト「とちぎレインボーネット」にて掲載

【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）



② 社会教育における人権教育に関する調査研究



社会教育では、幼児から高齢者に至るそれぞれのライフサイクルにおける多様な教育活動を展開していくことを通じて、人権尊重の意識を高める教育を行っていくことが求められています。人権教育推進のため、人権に係る課題等の明確化を図る調査研究を実施し、各市町の人権教育の支援方法等の改善充実に関する資料を作成しました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Web サイト「とちぎレインボーネット」にて掲載

【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）



③ 「同種の活動」から見る架け橋期の教育

～遊びや学びのプロセスからカリキュラムへ～



架け橋期の教育の充実のために、幼稚園・こども園・保育所と小学校が協働してカリキュラムを作成する取組から、相互理解を深めることが求められています。そこで、幼稚園等と小学校の「同種の活動」の事例から、幼小の先生の対話を通して導かれたことを示し、架け橋期のカリキュラムにつながっていく過程としてまとめました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/cyosa/menu.htm>

【問合せ先】幼児教育部（TEL 028-665-7215）



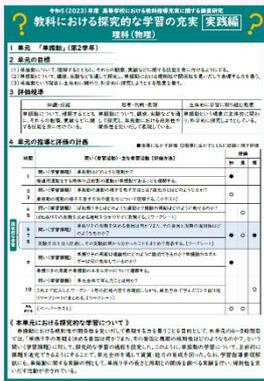
④ 教科における探究的な学習の充実 ～新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指して

（高等学校における教科指導充実）

高等学校では、探究が授業改善のキーワードとなっており、その充実を目指して理論編と実践編を作成しました。実践編では、地理歴史科、理科（物理、化学）、保健体育科、農業科、工業科、商業科の具体的な実践例を紹介しています。さらに、探究的な授業を構想する際に役立つ、授業づくりワークシートなどもWebサイトに掲載しています。授業改善の参考資料の一つとして、御活用ください。



理論編



実践編

https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_r05_koko/index.html

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



⑤ 資質・能力の育成を図る授業づくり ～単元（題材）の見通しとICTの活用の視点から～

（小・中学校における教科指導充実）

目指す資質・能力の育成を図るために、単元（題材）の見通しをもって授業を構想すること、また、単元（題材）の学習過程において効果的なICT活用を図ることの視点から、授業実践例を作成しました。小・中学校段階における音楽科、図画工作科、体育科、保健体育科、家庭科、技術・家庭科（技術分野・家庭分野）の具体的な実践例を紹介しています。さらに、単元（題材）全体の授業実践の展開についても、Webサイトに掲載しています。各学校において授業改善を図る際の参考資料の一つとして、ぜひ御活用ください。



https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_r05_shochu/index.html

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



⑥ とちぎ教育ICTポータルサイト

当サイトの開設から2年となり、令和5年度は授業で役立てられるICTの実践事例について、コンテンツを増やしました。令和6年3月時点で県内の各学校の取組を32件掲載しており、どのような内容の事例なのかが一目で分かるようにサムネイルを工夫し、すぐに必要な情報を見付けられるようになっています。また、情報モラル教育教材として、LINE みらい財団の協力のもとで、「GIGAワークブックとちぎ」(小・中・高対象)を作成しました。タブレット端末にダウンロードして、御活用ください。<https://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/ICTPortal>



【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



⑦ 教師が大切にしたい「きく」の基本



学校生活の中で、教師が子どもの話をきく場面はたくさんあります。どの場面でも、教師が子どもの話に耳を傾けながらきくことで、子どもの理解やその子に合った指導・支援につながりやすくなります。本リーフレットでは、話をきく際に心がけたいことや、何をどのようにきいたらよいのかなど、子どもの話をきくときに教師が大切にしたいことをまとめました。よりよいきき方のヒントとしてご活用ください。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r05.htm>

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



⑧ 指導・支援に生かす個別の指導計画にするために



個別の指導計画は、児童生徒一人一人の指導目標や指導の手立てを明確にして、きめ細かな指導を行うために作成するものです。本資料では、個別の指導計画を指導・支援に生かすために大切にしたい5つのことをまとめました。個別の指導計画を基にした指導・支援の参考として、御活用ください。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r05-2.htm>

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



栃木県総合教育センターWeb サイトには、過去に作成したパンフレットや冊子のダウンロード用データを多数掲載しております。目的に応じて、ぜひ御活用ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/02chosa/index.html>



- これで安心!プログラミングの授業(高校)
- 資質・能力の育成を目指した学習評価の充実(高校)
- 資質・能力の育成を図る授業づくり～単元の見通しとICT活用の視点から～(小・中学校)
- 見方・考え方を意識した授業づくり(小・中学校)
- 「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価～PDCAサイクルが機能する実践から～
- 「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価～栃木県の実態を踏まえて～
- 特別支援学校(知的障害)におけるICTを活用した指導・支援の充実
～障害の状態等に応じたタブレット端末の活用～
- 全ての子どもが授業に参加できるように～子どもが安心して学べるような教師のかかわり～
- 生涯学習指導者研修修了者の地域での活動状況調査～家庭教育支援者の養成研修について～
- 「共生社会の実現に向けた県民の学びの実態に関する調査研究
～困難を有する子ども・若者・外国人の支援者を対象とした調査結果から～」

など